

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	県立芦屋国際中等教育学校 職・氏名 主幹教諭 金川 幾久世	研究チーム名 (日本語教育推進委員会)
-------------	----------------------------------	--------------------------

研究テーマ分類番号 (1)

(1)研究テーマ	
日本語学習から教科学習への橋渡しのための、本校オリジナルテキスト『中学生の日本語 第2集』の作成と活用について	
(2)研究経過及び具体的な取組	
4月	<p>入学式までに、外国籍及び帰国枠で入学した新入生全員(60人)に本校作成の「日本語運用能力テスト」を実施することにより、日本語の支援が必要な生徒の実態を把握し、職員の共通理解を深めた。併せて、適切な指導を行うための日本語クラスの「初級・中級・上級、国語クラス移行期のレベルと学習目標」・「クラス分け」・「昇級する場合の基準と時期」・「担当者の決定」を行った。さらに、11日には、新入生全員の小学校漢字の習得状況を調査・分析し、国語の教科指導にも反映できるようにした。</p> <p>授業が軌道に乗った頃の18日に、毎月曜日に2時間程度の「日本語オリジナルテキスト作成検討会」を開き、本格的に『中学生の日本語 第2集』の作成に取り組み始めた。まず『第1集』の遺漏を調べ、次に『第2集』作成のための年間・月間計画を立てた。そして、テキストの核となる「文型・文法・語彙・トピック項目」及び、構成・書式・登場人物等について検討を開始した。また、毎火曜日に、日本語担当者会を開き、授業や放課後の平常補習・日本語能力試験受験者のための対策講座等についても打ち合わせをした。26日には、日本語教育推進委員会を開き、日本語支援が必要な生徒の学年団・教科担当・外国語講師と情報交換・共通理解を図った。</p>
5月	<p>前月に引き続き、9日・16日・23日・30日の検討会を通じて、「文型・文法・語彙・トピック項目」及び、構成・書式・登場人物等をほぼ決定することができた。「日本語オリジナルテキスト」の各担当部分の SCRIPT・新出語彙・タスク等の作成を各担当で進めた。当研究グループ構成員内で2～3課分ずつ責任分担部分を決定した。</p>
6月	<p>6日に、テキストで必要な文法項目は全24課と設定し、物理的制約があるため、今年度は『第2集』の13課～18課の6課分のみを作成し、19課～24課は『第3集』として、次年度に回すことに決めた。1課ずつ担当者を決め、27日までに、SCRIPTや例文を各担当者が考えて持ち寄ることとした。</p>
7月	<p>19日に、本年度の全職員対象の第1回校内日本語研修会を実施した。内容は、日本語担当によるJSLカリキュラムを活用した授業のワークショップ、及び講師の多文化共生センター主任指導主事の助言で、日本語指導やテキスト作成に反映できるようにした。</p>
8月	<p>1日・2日・3日・4日・5日に、毎日2時間ずつオリジナルテキスト作成のための検討会を開いて、各SCRIPTの雛形を作り、フォーム・フォント・ポイント等も統一した。また、表紙及び例文のイラストの作成を、分量・用途も考慮したうえで、2名の外部講師に依頼することに決めた。さらに、夏季休業中に調べておくべきことについても検討を重ねた。</p>
9月	<p>5日・12日に、13課に関して1回目と2回目の検討会を開いた。また、12日に、イラス</p>

トの依頼者(A)と表紙のイラストについて、打ち合わせた。13日には作成のうえ持参してもらい、さらに翌日、一部修正して、持参してもらった。23日に、もう1人のイラスト依頼者(B)が来校、登場人物のイメージ、必要箇所等について協議・検討した。30日には、第2回校内日本語研修会の講師との打ち合わせのため、京都教育大学附属桃山中学校に出向き、併せて同校の学校行事である帰国生徒のスピーチコンテストを見学した。

10月 3日に13課の3回目の検討会を開き、依頼者(B)にイラストの本文原稿を渡す。17日・24日・31日には14課を検討。

11月 7日・14日・21日に15課の検討をし、11日には14課のイラスト原稿を依頼者(B)に渡し、28日より16課の検討に入った。

12月 2日、15課のイラストを依頼者(B)に渡した。6日に第2回校内日本語研修会を開き、前述の桃山中学校教諭を講師に招き、日本語支援が必要な生徒に対するJSLを活用したわかりやすい授業の手立てに関する指導を受けた。研修会アンケートをもとに、今後の研修のあり方等について、職員の共通理解に努めている。5日・7日は、16課の2・3回目の検討会を開いた。

※ なお、17課の原稿は年内に、18課の原稿は、年明けに完成予定である。